IMAGINE ROTARY
Rotary
ロータリーはみんなを幸福にする
2022. 8. 5. No. 5 通算№1768

MATSUMOTO EAST
２０２２－２０２３年度会報
会長／小林正樹　幹事／小笠原信隆

事務所／松本市深志 1-1-21　中田歯科ビル 5F
TEL:0263-36-7737　FAX:0263-36-6009
例会場/ホテルブエナビスタ　例会日/金曜日 12:30

委員長/髙波雄一郎
副委員長/中田金一
委員/百瀬(正) 飯嶌 福田 籾山

8 月 26 日(金)の予定
夜間例会（情報集会）
9 月 2 日(金)の予定
基本的教育月間特集

☆★☆★☆★

〔会員誕生〕小林正樹君、佐々木君
〔結婚記念〕舘島君　〔前回欠席〕手島君
〔写真掲載〕小林正樹君、井上君、太田君、舘島君、眞峯君、永田君、籾山君、手島君、百瀬敏男君、吉池君、土屋君、百瀬正容君、中田君

☆☆☆　本日のプログラム　☆☆☆

司会　　舘島プログラム委員

【雑誌評論】　飯嶌司委員

８月のロータリーの友のテーマは会員増強です。横組み P5「全ては招請することから始まる」RI 会長メッセージも会員増強の話です。ロータリーの一員となるには　誰かに招待されて入会し、誰かを招待する。その時、自分と同じような人を誘おうと思いがちです。しかし、招待するには「多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）」という価値観が大切である。「DEI（ディー・イー・アイ）」は　企業経営を行う上での基本的な考え方・価値観で、「Diversity（ダイバーシティ、多様性」性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観などの多様性、「Equity（エクイティ、公平性」正当性と公正さを促進すること、「Inclusion（インクルージョン、包括性（ほうかつせい））」すべての人が信頼され、最善の自分でいられるようにすること、の頭文字からなる略称です。本文　中ほど　１９行目、「例会やイベントを、本音でオープンな場にし、会員たちが「自分は歓迎されている」と感じられて、居心地の良い場所にしなくてはならないのです。」この部分が「DEI」を表す RI 会長メッセージです。関連記事 P28 に出ています。

横組みＰ７「特集会員増強　多様性のあるクラブづくりへ　女性会員を増強しよう」多様性のある会員基盤づくりの一つが女性会員の増強・維持です。全国の女性会員を対象にしたアンケートの紹介で女性会員アンケートから見る会員増強です。会員の増強・維持に必要なこと、女性会員に立ちはだかる壁、についての意見が掲載されています。Ｐ１２世界の女性会員比率日本は 219 の国と地域中 217 位です。これからの日本のロータリーには「D.E.I.」が必要です。

【会員増強特集】飯嶌増強委員長

前年度地区会員増強セミナーに出席しました。その中で、実際に会員増強に成功した佐久 RC の話がありました。興味深い話なので例会でお話していただきたいと佐久ＲＣ原パストガバナーにうかがったところ快く引き受けていただきました。

原パストガバナーは、千曲錦酒造株式会社、相談役で、国際ロータリー第 2600 地区 2016 年-2017 年度のガバナーです。ロータリー以外には、2004 年バスケットボール女子日本代表総監督としてアテネオリンピックに参加。東京オリンピック銀メダルの礎を築きました。２０２１年４月からエフエム佐久平の音楽番組「気ままにオールディーズ」でパーソナリティーを務めています。

「50 人以上のクラブを目指して」

原拓男パストガバナー（佐久ＲＣ）

今日は抽象的な話ではなく私たち佐久ロータリークラブが実際に体験した事、また若者とどんな交流をし会員を増強しているかについてお話させて戴きます。

まず私は「若者」と言う言葉自体が何か上から目線の様な気がしていますがロータリーは勿論、年齢に関係なく平等が原則なので私は「クラブの若い仲間」と言う親しみを込めて、ここでは「若者」と呼ばせて頂きます。若者と言っても彼らは皆、経営者か役員で、多少の意識の差は有るにせよ年齢に関係なく「同じ目的を持った仲間」と言う意識がとても重要だと思っています。私は現在 77 歳ですが、多くの若者たちとの交流はパワーを貰える大切な存在だと思っています。実際に彼らと共に奉仕をしたりゴルフをしたりお酒を飲んだりすると自分が彼らと同じとまでは行かなくても多少なりとも若返った感じがしますし、むしろ若者たちと一緒に楽しく奉仕をしたり遊んで貰っている様な感覚さえします。私たちの年齢ではロータリーでなければ会社以外でなかなか若い人との交流はないのでロータリーに感謝して積極的に若者たちと交流する方が気持ちも若返り健康的に良いのではないでしょうか。

次に冒頭お話した私たちのクラブが実際に体験した少し恥ずかしいエピソードを紹介します。私がクラブに入会したころ例会に行くと年齢は私より若いのですが私より 20 年ほど前に入会した 4 人のいわゆるベテラン・ロータリアンがいました。彼らはいつも同じ円卓に座って私が挨拶をしてもまともな返事もしない人達でした。後で解った事ですが彼らは例会の後、会長や幹事に「あそこが悪い、ここが駄目」とメールを送信していましたので会長、幹事が終わるとクラブを辞める人が何人もいました。若い会員が入っても彼らを大事にすると言う意識ではなく「ロータリーはこうでなくてはならない」と自分のロータリー感を上から目線で押し付けたので何人

もが入会後三か月、半年で辞めて行きました。彼らは若者に限らず他の会員に対しも上から目線で接していたので私がクラブ会長エレクトだった2013年、全員で話し合い彼らは退会して行きました。

以上が恥ずかしいエピソードですが、ここで私が申し上げたいのはベテラン会員が「お前たちにロータリーを教えてやるぞ」という様な上から目線で若い会員たちを見るのではなく自分たちのクラブがあと5年後にはどうなるのか？若者が入会してくれなければクラブは存続できるのか？という考えを持って「金の卵」の様な若者を良い意味で大事にするのが私は当たり前だと思います。私たちのクラブは新入会員に二人のカウンセラーを付けていますが私は例会では必ず新入会員や若い会員に声を掛けています。これは私自身が入会したての頃例会に行っても話相手もいないし自分の為になると思わなかったからで若者に取ってベテラン会員からの声掛けや上から目線ではないアドバイス等は嬉しいものだと思いますので積極的に声を掛けて戴きたいと思います。

次に私たちのクラブがその後どうなったかについて実例をお話したいと思います。私のクラブ会長年度 2014～15 年度の期首会員数は 2013 年度末に先ほどの 4 人の他に彼らの友人 2 人、合計 6 人が退会したので 33 名となってクラブ運営に支障が出そうな状況でした。その後、私の会長年度内に 30 代 2 人と 40 代 1 人が入会し合計 36 名となりました。それまで私たちのクラブには 30 代の会員は一人も居らず一番若い会員でも 2013 年度に入会した 41 歳の会員でしたので 30 代の二人の入会は当クラブに取って初めての画期的な出来事でした。この二人の年齢は実際は 39 歳でしたが、そうは言っても 30 代は 30 代ですから私たちの意識として 30 代の若者が入会してくれた事を機会に若者や女性の会員増強をもっと真剣に考えようと言うムードが起きて来ました。5 年後 10 年後のクラブ存続の為に若者や女性会員の増強は避けて通れない非常に重要な課題であると言う事に対しスイッチが入った訳です。そこで先ず戦略計画委員会を発足させ全会員に対してのアンケートや全会員での議論を数回行ってクラブの現状把握をしました。その結果 3 年～5 年後の未来像を「会員が明るく、楽しく、元気よく活動できるクラブをつくろう」という佐久 RC のビジョンを設定しました。更にこのビジョンを達成する為の項目を作成し例会でアンケートやグループ討議を行いクラブが目指す年度毎の未来像として 3 年計画を立てましたが RC 奉仕活動の基盤である会員増強・維持活動の項目は初年度から「会員数 50 名以上のクラブを目指す」となっていました。しかしこの戦略計画が実際に始まった年度の期首会員数は 41 名で正直なところ私は 3 年間でこの計画を達成するのは厳しいのではないかと思っていました。所が私の心配をよそに、ここから奇跡が始まりました。この年度に 50 代の会員が友人の経営者を誘った所、自分ではなく何と 28 歳の息子さんを入会させてくれました。さらにこの年度内に 39,40,42,44 歳と平均年齢 38.6 歳の 5 人の若者が入会してくれましたが、この内 40 代の 3 人は前年入会した M 君の友人経営者で M 君自身が体験した佐久ＲＣの楽しさを彼らに話して入会の推薦をした若者たちでした。私たちベテラン会員は、この宝物の様な若い新入会員に対し例会時は勿論、夜間例会やゴルフ同好会、そしてワイン同好会更に会員の 70%以上が参加している無尽という飲食の会などの親睦活動で年齢の差やロータリー経験の長短に関係なく奉仕と言う同じ目的を持った仲間として接しました。すると彼らもロータリーの楽しさを実感し奉仕活動にも積極的に参加し翌年度、自分たちの友人経営者 40 代前半 3 人と 50 代前半の若者 4 人を入会させてくれたのです。こうして戦略計画が正式に発足して 2 年目に私達は会員増強・維持活動の項目で 50 名という目標を達成した事になりました。次年度も 7 月早々38 歳の若者が入会し年度内には戦略計画に載っている女性会員 1 名の目標も達成しました。その後 3 名が入会し 2022 年 6 月末現在会員数は 55 名ですが先ほどお話しした 2013 年度末に 6 名が退会して以降 8 年間退会者は 1 人も居りませんし出席率もコロナ禍の 2 年半ほどを除き年間平均 94%となっています。さてこの様に若者が若者を会員に推薦する良い環境が生まれた要因は色々有りますが 1 つは「全員参加で作った全ての会員が意識しやすい明確なクラブ目標である「戦略計画」が有った事」もう 1 つは今お話しした通り「新入会員や若い会員と先輩会員、特にロータリー経験の長いベテラン会員との親睦や交友が非常に大切」だという点だと思います。

【決算についての議事】

進行：小笠原幹事　　議長：小林正樹会長

◇前年度会計：村山会員より説明

「2021-22 年会計年度の収支決算について」

◇監査報告：百瀬敏男監査員～～挙手により承認～～

【点鐘 13：10】　　**小林会長**